

①大会出場資格の譲渡の禁止

•出場資格の譲渡及び、譲渡された資格での出場は禁止です。事故が生じた際に適切な措置が取れなくなります。

②悪天候時及び有事・災害等の措置

•雨天でも決行します。ただし異常気象による高温・低温時や強風など競技環境が悪化した場合は、距離の短縮や競技内容の変更、またスイム競技が、ラン競技に変更となる場合があります。

•開催地の災害等の発生時には、競技を中止することがあります。

•また、開催地以外でも周辺交通機関等の状況、海上自衛隊館山航空基地の活動、緊急出動により競技内容の変更及び大会を中止することがあります。

•バイク競技終了前の緊急離発着により、バイク競技が中止となる場合には、スイム+ランの合計タイムで順位を決定いたします。

競技短縮、中止の場合でも参加料の返金はいりませんので、予めご了承ください。

•競技内容変更の際の詳細は公式 HP・SNS およびアナウンスにてご案内いたします。

③競技説明会

競技説明会はオンラインで行います。

大会規則、注意事項を理解しているかオンラインで確認テストを行います。全問正解しないと出場できませんのでご注意ください。

④レースウエア及び携帯音楽プレーヤー

•フロントジッパーについては認められていますが、ゴール直前にはジッパー等を上げてゴールをしてください

•携帯音楽プレーヤー、イヤフォン等を装着しての競技は、危険なため禁止です。

⑤防寒及び暑さ対策

天候の変化に柔軟に対応できるようにレースウエア等の準備をされることを推奨します。

⑥事前送付物

レースナンバー、ボディナンバーシール、レースナンバーカード(ゼッケン 1 枚)、ヘルメットステッカー、バイク用ステッカーを事前に郵送いたします。

ご自身のレースナンバーを確認の上、指定された箇所に表示をしてください。

•ボディナンバーシールは、両腕の外側に貼付してください。

•バイク競技とラン競技でウエアを変える場合は、バイク競技中は、背面に、ラン競技中は、前面にレースナンバーを表示してください。

•レースナンバー用ベルトまたはゴムを使用してください。

•ヘルメットステッカーは前面に。バイク用ステッカーはサドル下部のフレームにはさむように貼付してください

⑦タイミングベルト(計測器具)

•競技中は、入水前に配布するタイミングベルトを必ず足首に装着してください。

•ラン競技でフィニッシュするまで、外さないでください。

•装着せずにスタート、または途中で外したままの場合も失格となります。

⑧途中棄権の申告

途中棄権する場合、テクニカルオフィシャル(審判員)に申告してください。その際タイミングベルトはテクニカルオフィシャルに手渡してください。

⑨制限時間

オリンピックディスタンスは、スイムはスタートから1時間後、ランはスタートしてから3時間30分後です。

スプリントディスタンスは、スイムはスタートから40分後、ランはスタートから1時間45分後です。

制限時間を過ぎた場合、競技を中止いただく場合があります。

⑩周回チェック

- 個別の周回数を競技中にスタッフが教えることはできません。
- 事前に自分の周回数を確認の上、サイクルコンピュータやその他の方法で周回を確認してください。
- コース上の計測ポイント不通過、周回不足は、失格となります。

⑪リザルト

- 公式記録は、大会終了後数日以内に大会ホームページに掲載します。
- 記録証は本大会ホームページからのダウンロードとなります。

⑫エイドステーション

スイム、ランコースに設置します。バイクコースにはありません。

ランはコース周回上に2カ所用意します。

⑬更衣テント

会場内に更衣テントを男女別に設置しますので、貴重品、手荷物に注意の上、お使いください。

⑭救護テント

- 会場内に救護テントを用意します

(スイムエリア、バイクコース、ランエイド2箇所、フィニッシュエリアの計5箇所)。

医師や看護師が待機し、応急措置を行います。

- また、ランエイド、バイクコースにも救護スタッフを配置します。

⑮体調管理

• トライアスロン競技は、大きく変化する環境下でのスポーツであり、またコンタクトスポーツの側面もあることを認識していただき次の点等について確認の上、参加をしてください。

- 健康上不安のある方はあらかじめ、主治医や医療機関にご相談いただき指示に従ってください。

- 当日の体調について不安のある方は、救護テントの医師にご相談ください。

- 大会参加者、ボランティアは、大会保険に加入しますが、治療費を全額保証するものではありません。

また持病のある方などは、内容によっては保証されない場合もあります。

- 競技スポーツに参加できると判断できない身体の方には、参加をお断りする場合があります。

- 体調等の事実を隠して参加し、体調が悪化しても主催者は一切責任を負いません。

⑯会場内施設の使用について

海上自衛隊基地内の施設に勝手に立ち入る事はできません。基地内のトイレは敷地内に設置した仮設トイレを

ご利用ください。

【スイム】

①コース

沖ノ島海水浴場に設定した1周750mの三角形コースを、オリンピックディスタンス(51.5km)は2周、スプリントディスタンス(25.75km)は1周します。チャレンジは指定コースを1周回(400m)、ジュニアAは指定コースを1周回(100m)、ジュニアBは指定コースを1周回(50m)、スイミーは岸と平行となるコースを15m泳ぎます。

②ウエットスーツ

オリンピックディスタンス、スプリントディスタンス参加者は着用義務とします。ラッシュガードは認めません。但し、チャレンジ、ジュニアA,B、スイミー部門は着用任意とします(ラッシュガードも可)

③レスチューブ(瞬間膨張式浮力具)

装着を認めます。

使用(膨張させた)場合は、大会スタッフが健康状態を確認した上で参考記録として競技を継続できます。膨張させたレスチューブを利用(つかまったまま泳ぐ等)して前進した場合は、失格となります。

④スイムスキップ:ありません。

⑤スタート

オリンピックディスタンス、スプリントディスタンスはローリングスタート(※)とします。

(※)ローリングスタート:10人ずつ10秒ごとにスタートします

【トランジション】

①競技用具の設置

競技カテゴリーごとにトランジションエリアを設けます。指定された時間内にバイク、ラン競技に必要な物を、設置

してください。用具が散乱しないようにまとめてください。

②バイク設置の向きに注意してください。また、バイクペダルに輪ゴムにてバイクシューズを固定する行為を禁止します。発見した場合はトランジション内において撤去を求めるか、乗車来ライン手前(スタート直前)でも停車して撤去を求めます

③競技用具の回収

競技の安全のため、トランジションエリアの解放の時間まで、お待ちください。

トランジションの出入りの際は、レースナンバーが必要です。バイクピックアップの際は、バイクのレースナンバーと照合します。

【バイク】

①コース

海上自衛隊館山航空基地内の周回道路(1周約4.5km)をオリンピックディスタンスは9周回、スプリントディスタンスは4周回、チャレンジは2周回、ジュニアA,Bは1周回します。スイミーは指定コース(200m)を走行します

②バイクの種類

オリンピックディスタンスはロードレーサータイプの自転車・TTバイクを使用してください。

ハンドルはドロップハンドル若しくはこれに準ずる形状としてください。

スプリントディスタンスは、クロスバイク、MTB、ミニベロの使用も認めます。

チャレンジ、ジュニア A,B、スイミーはマウンテンバイク、クロスバイク、軽快車(ママチャリ)での出場を認めます。(スイミー部門はストラータ等での参加も可)

使用する自転車は整備された状態でご参加ください。

固定ハブは認めません

③ドラフティング、ブロッキング

禁止です。

ドラフトゾーンは前方選手の前輪先端から後方 10メートルです。

追越す時でも 20 秒以内に抜けださなければなりません。追越された選手は加速をやめドラフトゾーンから脱しなければなりません。

並走、集団走行を避け、ブロッキングとならないようキープレフトを心がけて走行してください。

違反に対しては罰則を課す場合があります。

サイクルコンピュータ

オリンピックディスタンス、スプリントディスタンスは装着を義務とします。

④ヘルメットの着用義務

会場内およびコース上で自転車に乗車するときは着用を義務付けます。

自転車競技用の硬質ヘルメット(公益財団法人日本自転車競技連盟(JCF)の基準に適合したものと同等のものを推奨)を使用してください。貸し出しはありません。

•バイクパートへの移行時:バイクをラックから外す前にヘルメットを着用し、ストラップを締めてください。

•ランパートへの移行時:バイクをラックに掛けた後にストラップを外す(緩める)ことができます。

•小中学生等のヘルメット特別規定

ロードレーサーを使用せず、かつ、伸縮しないストラップの構造である場合に限りバイク競技用以外の硬質ヘルメットを使用することができます。

⑤バイクボトル

専用のバイクボトルを使用することを推奨いたします

尚、ペットボトルを使用する際は**専用のボトルホルダー**が装着されている場合のみ許可となります。

但し、ペットボトルのキャップが落ちないもの又はキャップが無いものとします

⑥乗車ライン、降車ライン

•乗車方法:片足が乗車ラインを越えた後に、完全に片足が地面に着いてから乗車をしてください。

•降車方法:降車ライン手前の地面に、片足が完全についてから降車をしてください。

⑦ゴミシュート

バイクコース上1個所にゴミシュート場所を設置します。自衛隊基地内でこの場所以外でのごみのポイ捨ては禁止とし、失格の対象とします。

【ラン】

①コース

海上自衛隊館山航空基地内の周回道路(防風林脇1周 2.5 km)をオリンピックディスタンスは4周、スプリントディスタンスは2周、チャレンジは 1 周回します。

ジュニア A は指定コース(1 周 1.25km)を1周回、ジュニア B は指定コース(1 周 500m)を1周回、スイミーは指定コース(50m)を走ります

【フィニッシュ】

①フィニッシュの直前では、帽子、サングラスを外すことを推奨します。

【無断での各種メディアへの掲載禁止】

①実行委員会が特に認めた場合を除き、被写体となった本人の了解なく、各種メディア(インターネット個人ページを含む)への写真や動画等を掲載することはできません。

②基地内での撮影禁止

海上自衛隊基地内へのカメラの持ち込みを一切禁止といたします

施設の特性上、競技中のコース内撮影はできません。

バイクなどへのカメラ設置は禁止します。

カメラ付きスマートフォンをサイクルコンピュータ代わりにする場合及びカメラ機能付きサイクルコンピュータを使用する場合にはカメラ機能を停止してください。

コース内持ち込み発見時は、現場画像が確認された場合は失格とし、その場で画像を消去していただきます。

また、SNS などへの投稿が発見された場合、厳正な対応を取らせていただきます